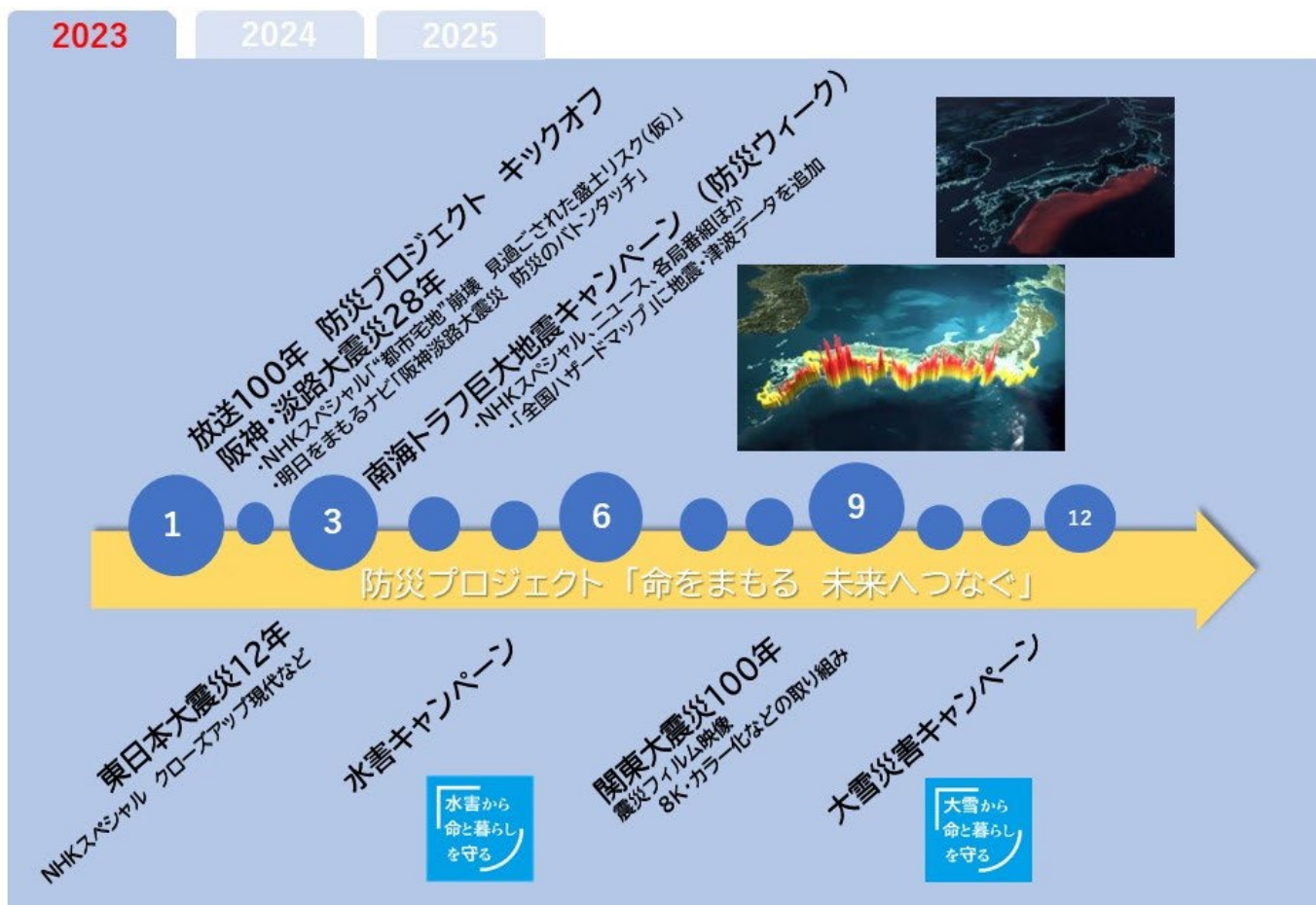


放送100年 防災プロジェクト 「命をまもる 未来へつなぐ」 2023年(関東大震災100年)～2025年(放送100年)

近代以降、日本が初めて経験した巨大地震災害「関東大震災」(1923年)。当時、テレビやラジオは存在せず、流言飛語が飛び交う中、救助や復旧が立ち遅れました。その教訓から、2年後、初の【ラジオ放送】が開始されました。

それから100年。NHKは「防災と正確な情報伝達」という原点に立ち返り、「命をまもる 未来へつなぐ」をテーマに、放送・デジタル・アーカイブスを駆使して「命」を守る様々な取り組みを展開します。放送開始100年にあたる2025年にかけて、地域放送局とも連動し、デジタル時代の「公共メディア」として一丸となって防災・減災に取り組みます。



放送100年 防災プロジェクト 2023年の計画

阪神・淡路大震災28年



〰都市宅地、崩壊 見過ごされた盛土リスク(仮)



2023年1月14日(土)午後10時～10時49分

阪神・淡路大震災から28年を経た今もなお、見過ごされてきたリスクがある。住宅の土台となる盛土が、広い範囲にわたって地すべりを起こし、深刻な被害をもたらす“宅地崩壊”だ。兵庫県西宮市の仁川では、住宅が大量の土砂に飲み込まれて34人が犠牲になった。その後も大地震のたびに深刻な被害を出してきたが、対策はほとんど進んでいない。自治体が公表している盛土造成地は、大規模なものだけで全国に51,000か所以上あるとされている。しかし、公表されていない“隠れ盛土”が身近に数多く存在することが分かってきた。あなたの住まいの“足元”をどう守るのか。番組では、対策の現場を徹底取材。次の大地震に備え、見過ごされてきた教訓をどう生かしていくか考える。



※阪神・淡路大震災関連の NHK スペシャルを 2 本連続で再放送および NHK プラスで配信予定
 【総合】1/14(土) ※金曜深夜
 午前0時25分～1時14分「震度7 何が生死を分けたのか～埋もれたデータ 21年目の真実」(2016年放送)
 午前1時15分～2時4分「MEGAQUAKE 巨大地震(2)KOBE 15秒の真実 そのとき地下で何が」(2010年放送)

明日をまもるナビ『阪神淡路大震災 防災のバトンタッチ』
 『関東大震災 100年 首都直下地震に備える』(アンコール含む全4回)
 NHK G 毎週日曜午前10時5分～10時50分(1月22日～2月12日)

2023年のプロジェクト計画



災害列島ニッポンを防災大国ニッポンへ！大切ないのちと暮らしを守るための防災・減災ノウハウをお伝えする『明日をまもるナビ』。2023年一回目の放送は『阪神淡路大震災の記憶や教訓を、どう次の世代に引き継ぎ未来に繋いでいくか』がテーマ。〰人のつながり、でいまでも活動を続ける人々の姿を伝えます。また、2023年は関東大震災から100年の年です。1月22日から4週にわたり「首都直下地震に備える」をテーマにした番組をお送りします。

シリーズ一回目の1月22日は、「あなたの家は大丈夫？」と題して、住宅の耐震や家具の転倒防止など、住宅内での被災を防ぐ備えについて。1月29日は「火災からどう身を守る？」と題して、関東大震災では10万人の犠牲者を出した地震後の火災を防ぐ法、避難時の備えについて。2月5日は「あなたは何日避難？」と題し、長期化も懸念される避難生活への備えについて。そして、2月12日は「帰宅困難 そのときあなたは？」をお送りします。「関東大震災100年」シリーズは、3月以降も、随時放送していく予定です。なお、番組HPには、防災や暮らしの再建に役立つショート動画を随時掲載。今回のシリーズも放送後に「住宅」「火災」「避難」に関するノウハウ動画をアップします。さらに、防災知識が深まる Web 記事も随時公開。日常から防災への備えの一つとしてお役立てください。

おすすめ“ナビ動画”



雪おろし中の事故を防ぐには？
 大雪の災害で最も多いのが除雪中の転倒事故です。防ぐための4つのポイントをご紹介します。
 2022年12月9日



雪の死亡リスク上位！落雪に注意
 大雪のあと、気を付けたいのが屋根などからの落雪事故。注意すべきポイントをお伝えします。
 2022年12月9日



危険な路面凍結 ブラックアイスバーン
 冬の道路で特に危険な現象凍結。見分けがつかない「ブラックアイスバーン」とは何かをお伝えします。
 2022年12月9日

▶番組HPの防災動画 おすすめ“ナビ動画”

- 「浸水被害をアプリで疑似体験」、「災害食レシピ」
- 「体験者に学ぶ車での避難」、「避難所の感染症対策」
- 「災害で被災・住宅再建のポイント」 など